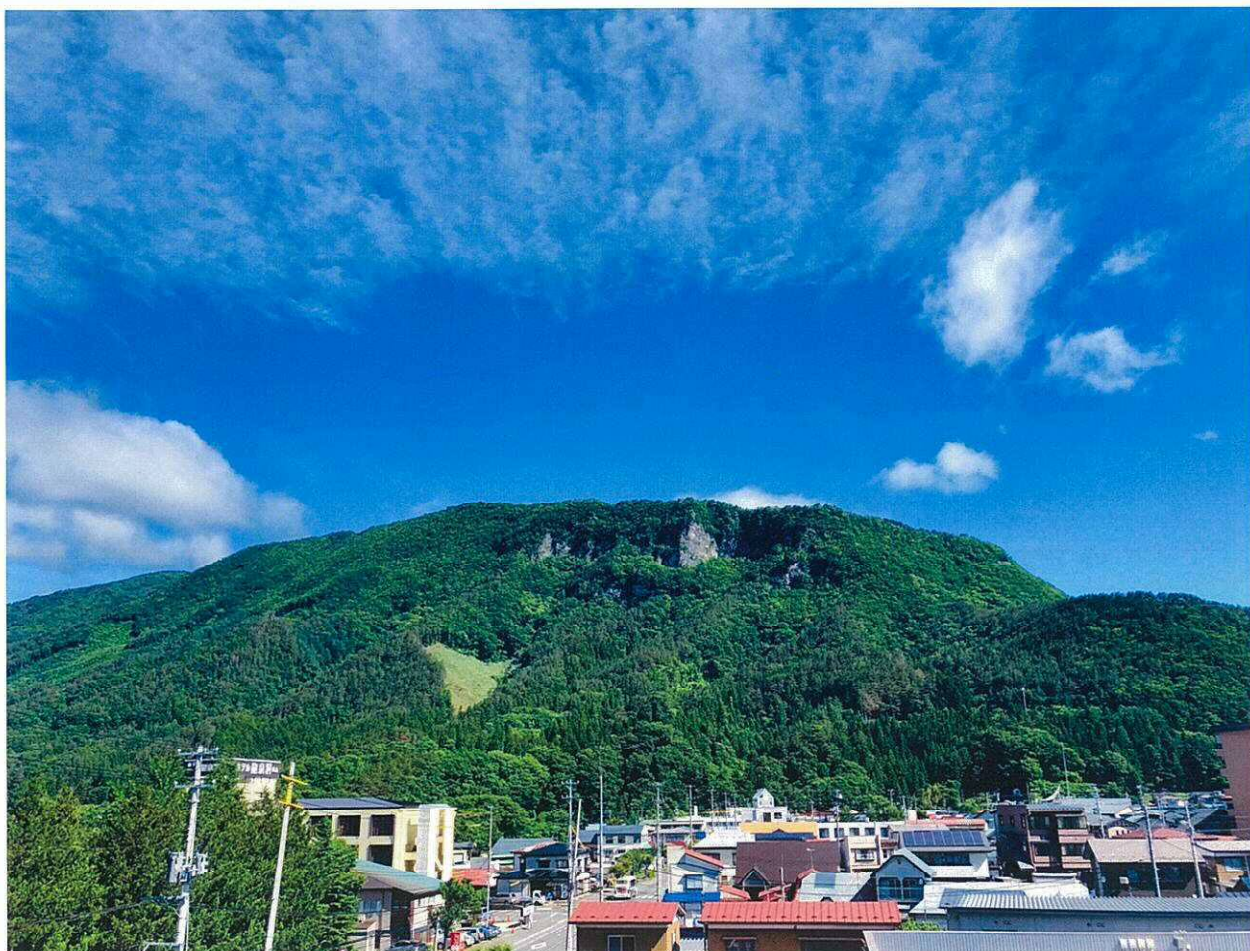


岩手県知事 達 増 拓 也様

要 望 書



宇霊羅山 (599.9m)

令和7年11月10日

岩手県岩泉町

岩泉町長

中 居 健 一



岩泉町議会議長

八重樫 龍 介



大川地区道路整備促進期成同盟会

会 長 中 居 健 一



安家地区道路整備促進期成同盟会

会 長 中 居 健 一



県道宮古岩泉線・同有芸田老線
及び町道等整備期成同盟会

会 長 中 居 健 一



要 望 項 目

- 1 一般国道 340 号の整備促進について
- 2 一般県道大川松草線の整備促進について
- 3 一般県道普代小屋瀬線及び一般県道安家玉川線の整備促進について
- 4 主要地方道宮古岩泉線及び一般県道有芸田老線の整備促進について

1 一般国道 340 号の整備促進について

一般国道 340 号は、沿岸地域住民の生活道路であり、救急医療施設への搬送はもとより、産業・文化・経済の発展を図るうえで、大きな役割を担っている重要な地域の幹線道路であるとともに、ＪＲ岩泉線の廃止に伴う代替バス路線としても、その役割が一層高まっております。

しかしながら、当町落合地区から宮古市押角間は、相当区間が未改良の状態にあり、幅員が狭く、急勾配・急カーブの連続で見通しが悪いうえに、冬期間は雪崩が各所で発生するなど交通の安全確保が極めて困難な状況にあります。

本路線区間内の最難所である押角峠については、令和２年１２月にトンネルが開通の運びとなり所要時間の短縮や通行の安全確保など、利便性が飛躍的に向上されましたが、前後の道路改良に一部着手されたものの、未改良が多く、トンネル化による多面的効果が望めるものではありません。

つきましては、事業化区間の早期の完成と未改良区間が早期に事業化され、整備促進が図られるよう、また、改良整備が完了するまでは、各所への待避所を整備するほか、舗装の全面修繕を早急に実施されますよう、強く要望いたします。

2 一般県道大川松草線の整備促進について

一般県道大川松草線は、一般国道 340 号の岩泉町大渡地区を起点とし、当町の大川、釜津田を経由して、一般国道 106 号の宮古市川井に通じる路線であります。

本路線は、沿線地域住民の生活道路であるとともに、救急医療施設への搬送、産業・文化・経済の発展を図るうえで地域の重要な路線であり、一般国道 106 号を経由することにより内陸と沿岸北部の地域間交流の促進が大いに期待される路線であります。

しかしながら、本路線は地形や自然条件が非常に厳しく、二級河川大川沿いは、道幅が非常に狭くカーブが連続する道路で、車両のすれ違いに支障のある箇所が多く、冬期間は雪崩が各所で発生するなど、交通の安全確保が極めて困難であり、災害や積雪に強い、安全に通行できる道路整備が急務となっております。

また、当地域の小学校、中学校が町中心部の学校と統合され、スクールバスでの通学に片道 1 時間以上を要している生徒もあり、児童・生徒の負担も多く、早急な道路整備が必要となります。

つきましては、起点の大渡地区から唐地公民館までの区間については、バス路線でもあることから早期に 2 車線化するとともに、唐地公民館から櫃取の区間については、車両のすれ違いが容易となる道幅に、また、道路改良が完了するまでは、各所への待避所整備と舗装の全面修繕を早急に実施されますよう、強く要望いたします。

3 一般県道普代小屋瀬線及び一般県道安家 玉川線の整備促進について

一般県道普代小屋瀬線は、普代村を起点とし、当町の安家地区を通り、葛巻町へ通じる道路です。また、一般県道安家玉川線は、当町安家地区から野田村へ通じる道路です。

両路線とも、地域の産業・文化・経済の発展に欠かせない基幹道路であり、このうち、一般県道普代小屋瀬線につきましては、地域住民の強い要望をお汲み取りいただき、松林～坂本地区事業計画により平成 27 年度に工事着手され、着実に進められていることに対し、改めて深く感謝申し上げます。

しかしながら、両路線の相当区間が未改良の状態で、幅員が狭いうえに、急カーブの連続となっており、特に冬期間は除雪を行っても十分な幅員を確保できず、大型車両等の通行に困難を極めている状況にあります。また、道路が低い箇所も各所にあり、再び大雨等による冠水や寸断の恐れもあることから、これまでの災害を教訓とした安心・安全な交通路の確保が必要不可欠であります。

つきましては、これらの事情をご賢察いただきまして、道路の低い箇所の嵩上げを行うとともに、特に松ヶ沢から燃壁付近と旧安家小学校から川口付近及び年々口橋から茂井付近の改良整備に早期に着手されますよう、強く要望いたします。

4 主要地方道宮古岩泉線及び一般県道有芸田老線の整備促進について

主要地方道宮古岩泉線は、宮古市を起点とし、岩泉町有芸を経由して当町乙茂の国道 455 号に接続する道路であります。また、一般県道有芸田老線は、宮古岩泉線の桁の木から分岐し、宮古市田老へ通じる道路です。

両路線は、地域の日常生活はもとより、災害時の迂回路として、また、産業の振興や経済の発展を図る上で大きな役割を担っている重要な路線となっております。

しかしながら、宮古岩泉線の岩瀬張橋付近から松の木橋の区間及び町役場有芸支所付近から栃の木地区を経て皆の川地区までの区間並びに有芸田老線の栃の木地区から肘葛地区の区間は幅員が狭く、急カーブ・急勾配が連続しており、冬期間は除雪を行っても十分な幅員を確保できず、交通の安全確保が困難な状況にあります。

事業化された岩瀬張橋付近から松の木橋付近について早期の完成と、他の要望区間についても極めて狭く危険な状況となっているところでもありますので、早期に事業化され、両路線の道路整備の促進が図られますよう、強く要望いたします。